



認定NPO法人ReBit

2021年4月～2022年3月 年次報告

代表挨拶

日本初の LGBTQ フレンドリーな就労移行開所という、大きな挑戦

ReBit は 2021 年度に、日本初の LGBTQ フレンドリーな就労移行（障害がある方の就活を支援する福祉サービス）の開所という、大きな挑戦をしました。

LGBTQ であることは障害ではありませんが、LGBTQ は社会状況等からメンタルヘルスが悪化しやすく、精神障害における高リスク層です。一方で、支援者の無理解等から、LGBTQ の 76% が福祉サービスの利用時にハラスメントや困難を経験しています^(※)。安全網であるはずの福祉を安全に利用できないことで、生きること自体に絶望し、亡くなった仲間たちもいます。更にコロナ禍は、失業や困窮状態の加速を肌身で感じ、できることを模索し続けた結果、「ダイバーシティと障害福祉の架け橋」になれたらと、本事業所の設立に踏み出しました。

精神・発達障害がある LGBTQ の就活支援を行う専門機関が日本で唯一だからこそ、2021 年度にはのべ 1600 人のご相談をいただき、そのニーズや期待の高さを実感しています。

2022 年度はオンライン支援を拡充するとともに、各地の行政・福祉事業者・LGBTQ 団体等と連携し支援網を広げ、LGBTQ も安心して利用できる福祉サービスや資源が増えるよう取り組みます。

「1 コマの授業」から「365 日安全な学校」へ

ReBit が 2010 年から取り組む教育事業でも、LGBTQ を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。目標のひとつであった教科書掲載が、2019 年に中学校、2020 年に小学校の一部教科書で実現しました。授業の 1 コマで多様な性に関する正しい知識を教えられる機会が少しずつ増えてきていることは、ひとえにこれまで応援をいただいたみなさんのおかげであると心より御礼を申し上げます。

だからこそ今、「1 コマの授業」だけでなく、LGBTQ にとっても「365 日安全な学校」環境を創るという目標に向け、アライ（理解者）の教職員の育成に注力をしていきます。

ちがいをもち誰もが「共に暮らす」地域・未来を

ReBit を設立してからの 13 年、当時と比べると LGBTQ の言葉の認知度も高まってきました。これまでは LGBTQ の理解を促進することが大きなテーマでしたが、これからは LGBTQ も「共に暮らす」ためのインクルーシブな社会風土の醸成に、取り組む課題が移りつつあると感じています。そして、その実現は決して連携なくしては実現しないと考えています。多様性を包摂する社会風土の醸成に向け、ダイバーシティ&インクルージョンに取り組む団体・個人と連携しながら、ちがいをもち誰もが「共に暮らす」地域・未来を目指し、ReBit はより一層邁進します。

2022 年度もお力添えのほど、何卒よろしくお願い致します。



代表理事

薬師実者

※ReBit (2021)「精神・発達障害がある性的マイノリティの求職活動に関するアンケート」

VISION- 目指す社会像

MISSION- 果たす使命

LGBTQ を含めたすべての子どもが
ありのままで大人になれる社会

- ① LGBTQ の子ども・若者特有の困難解消
- ② 多様性を包摂する社会風土の醸成

● ReBit が取り組む社会課題

LGBTQ の子ども・若者の「生きづらさ」は、① LGBTQ への理解・支援不足と、②多様性へ包摂的でない風土の二重構造。

ReBit は設立当初から、① LGBTQ の子ども・若者特有の困難解消に取り組んできました。

設立 10 年目以降はチャレンジを広げ、②子ども・若者の課題に取り組む団体とコレクティブに多様性へ包摂的な風土の醸成に取り組んでいます。

①LGBTQの子ども・若者特有の困難解消 LGBTQは約3%～10% *1

学齢期

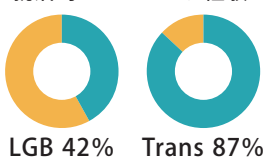
- LGBTQ は学齢期に、いじめ経験や自殺念慮の割合が高い
- しかし、教員の 1 割、高校生の 1 割しか LGBTQ について学んだことがなく、正しい情報と支援が不足している *2



青年期

- 新卒就活時に性的指向や性自認 (以下、SOGI) によるハラスメントを経験
- しかし、就労支援機関に相談できない
- 求職・就労における困難は、メンタルヘルス悪化や低所得にも繋がっている

就活時の SOGI ハラ経験*7



②多様性を包摂する社会風土の醸成

95.9%

がマイノリティに対して日本社会に差別や偏見があると感じている。*6

インクルーシブな社会風土の醸成に向け、「ちがい」による困難解消に取りむ主体をつなげ、バックボーン組織としてコレクティブインパクトの創出



*6：日本財団 (2019) 『「ダイバーシティ & インクルージョン」に関する意識調査』

ReBit の事業

1 教育事業 (P6-8)
学齢期の主課題である教育現場での理解・支援を届ける

2 キャリア事業 (P9-13)
青年期の主課題であるキャリアのサポートを行う

*1：LGBTやセクシュアルマイノリティの推計には様々な国内調査がある。「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム (2019) 「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」ではLGBTが2.7%、「アセクシュアル」「決めたくない・決めていない」を含めると8.2%。株式会社LGBT総合研究所 (2016) 「LGBTに関する意識調査」では、LGBTが5.9%、LGBTを含めたセクシュアルマイノリティが8.0%。電通ダイバーシティラボ (2018) 「LGBT調査2018」では、LGBTを含む性的少数者 (セクシュアル・マイノリティ) が8.9%。日高庸晴・三重県男女共同参画センター「フレンデみえ」(2018) 「多様な性と生活についてのアンケート調査」ではLGBTが10.0%。岩手県高校教育研究会学校保健部会・いわて思春期研究会 (2013) 「高校生の性と性に関する調査」ではセクシュアルマイノリティが10.1%などがある。 *2：ReBit出張授業アンケート (2014・2015) *3：いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン 平成25年度東京都地域 自殺対策緊急強化補助事業 「LGBTの学校生活に関する実態調査 (2013)」 *4：中塚幹也 (2010) 「学校保健における性同一性障害：学校と医療の連携」『日本医事新報』4521：60-64 *5：認定特定非営利活動法人ReBit (2019) 「LGBTや性的マイノリティの就職活動における経験と就労支援の現状調査」

Highlights of 2021

1 日本初、LGBTQ フレンドリーな 就労移行（障害福祉サービス）をオープン

LGBTQ は精神障害におけるハイリスク層である一方で、76% が行政・福祉サービス利用における不安や困難を経験。LGBTQ も安全に利用できる福祉サービスを創るため、日本初となる精神・発達障害がある LGBTQ の方々を主対象とした就労移行（障害がある方の就活を支援する福祉サービス）を東京都・渋谷区に開所しました。開所イベントには渋谷区長にもいらしていただきました。



2 精神・発達障害がある LGBTQ 等、 のべ 1,600 人へ就労相談を提供

就労移行の開所を受け、全国からキャリア相談が増加しました。特に、精神・発達障害があったり、失業や生活困窮の状況にある等、喫緊な状況の方々から多くのご相談をいただきました。必要な方へご支援を提供できたことは、大きな意義があると感じています。「地方に住んでいて、相談できる場所がない。セクシュアリティのことやうつのことを周囲に知られたらこの地域で生きていけないのではと不安」など全国からのご相談が届く中で、2022 年度は、安心して利用できる福祉サービスの拡大に注力します。



3 授業 / 研修を 130 回、約 2.4 万人。 教材を 685 個頒布、約 11 万回再生

2021 年度はコロナ感染拡大防止のため、オンラインとオフラインのハイブリッド型で、授業 / 研修を実施。学校 / 行政 / 企業などで LGBTQ やダイバーシティに関する授業 / 研修を 130 回、約 2.4 万人に提供できました。また、教材は、685 個頒布、オンラインでは約 11 万回の再生をいただくなど、広くお届けできました。



4 国内最大級のダイバーシティに関する キャリアフォーラムを開催

2016 年から開催する国内最大級のダイバーシティに関するキャリアフォーラムを、昨年に続きオンラインで開催。企業 32 社にご出展、厚生労働省、文部科学省等からご後援をいただき、産学官民でコレクティブに開催。約 35 万アクセスをいただき、多くの若者らに「自分らしく働く」きっかけを提供しました。



5 厚労省大臣指定のキャリアコンサルタント国家資格更新講習を開始

"LGBTQ も支援できる" キャリア支援者の育成に力を入れ、外部の専門家・組織との協働により、国家資格キャリアコンサルタントの更新講習（厚生労働省指定）の提供を開始しました。また、キャリア支援者向けのハンドブックを作成し、ハローワークをはじめさまざまな機関で活用いただきました。これからも、「LGBTQ × キャリア」のテーマに共に取り組む支援者の輪を広げることに注力します。



7 すべての子ども・若者に安全を。レインボー・セーフガーディングを策定

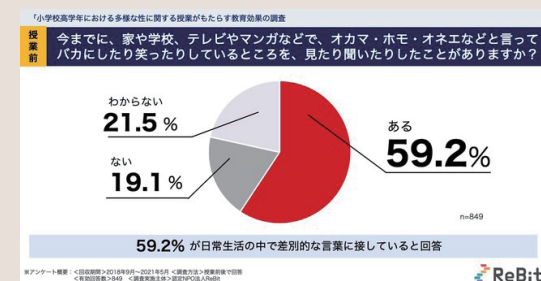
認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ様と共同で、性の多様性を前提にしたすべての子ども・若者のためのセーフガーディング「レインボー・セーフガーディング」を制作しました。



各団体が、活動内で LGBTQ の子ども・若者やその周囲の子ども・若者を傷つけないよう、予防的な取り組みを促進するために策定したものです。指針・行動規範はホームページで公開しており、無償で活用可能です。

6 LGBTQ の子どもへのいじめをなくす Spirit Day にあわせ、小学生への調査公開

調査を通じ、小学 5・6 年生の 59% が、日常生活で LGBTQ への差別的言動を見聞きする現状が明らかになりました。一方で、LGBTQ や多様な性に関する授業をした後は、9 割が LGBTQ へ差別的な言葉を「今後は言わないようにしたい」と回答。LGBTQ や多様な性に関する授業の必要性和効果が明らかになりました。



8 596 名のみなさまにご寄付をいただきました!

ReBit が 2021 年度を駆け抜けられたのは、みなさまのおかげです。たくさんの応援をいただき、誠にありがとうございました!



※この写真は 2018 年に撮影しました

教育事業

学校を、すべての子どもにとって安心・安全な場に。

教育事業では、多様な性を通して多様性への理解を深める授業・研修を全国でおこなう他、教材制作、講師育成、教員育成などに取り組んでいます。

コロナ禍という環境の中、オンライン授業を取り入れ、全国の学校・行政で子ども・教職員・行政職員等を対象に、出張授業・研修をお届けすることができました。

教育現場でLGBTQについて取り扱う機会が増えた今、子どもと関わる大人にも多様な性に関する正しい知識と適切な支援があれば、学校がLGBTQを含めたすべての子どもにとってすばらしい場所になるのではないかと私たちは考えます。

12年間のソーシャルインパクト

1090回 15.3万人



学校 / 行政へ授業 / 研修を
提供した回数・人数

3.5万部 10.5万回



教材の発行部数、
再生回数

19地域 55人



育成した若者リーダー

10年後にめざす姿

- 学校での環境改善や相談支援を主体的に担う教職員の育成、及び、手法提示により、心理的安全性の高い学校環境をつくります。

① 授業・研修

子どもたちへの授業は、「ふつう」とは? 「自分らしさとは?」 「ちがいを尊重するためにできることは?」といったことを見つめる構成になっています。

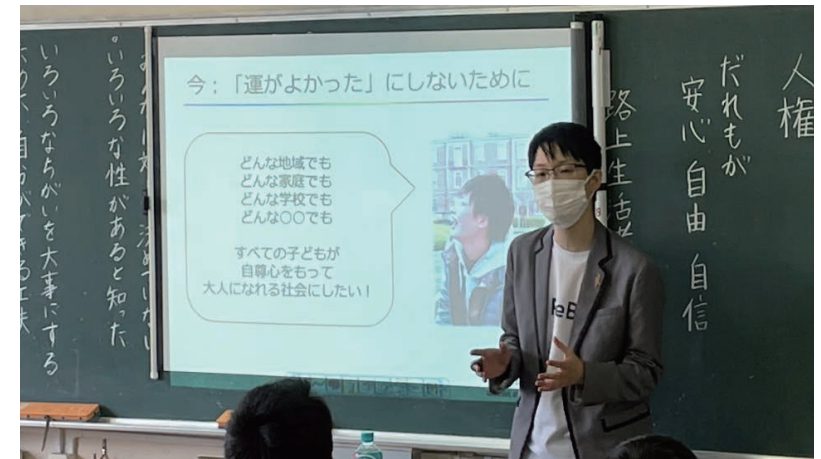
学校・行政での研修は、誰もがすばらしい学校づくり・まちづくりのために、「自分にできることは何か?」という意識をもっていただき、今日からできる行動につなげる内容になっています。

2021年度の成果

■ 12都府県で130回、約2.4万人へ 授業・研修を提供

ReBitは授業や研修を全国で開催しています。2021年度は、オンラインでの授業・研修を積極的に取り入れたことで、より多くの地域や学校等に授業・研修をお届けすることができました。

■ 研修実績(敬称略): 横浜市立中山小学校、東京都立葛飾ろう学校、同志社中学校、学習院大学、滋賀県、鳥取県など



②教材制作

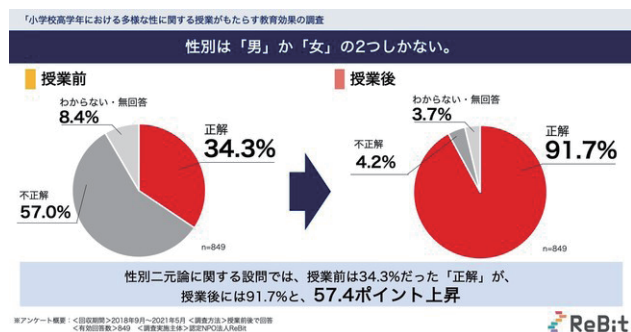
教員が LGBTQ への理解がある (=アライの) 先生になり、多様な性について授業をすることを応援する教材キット「Ally Teacher's Tool Kit」をはじめ、書籍など様々な形で情報を提供しています。

2021 年度の成果

■ Spirit Day に合わせ小学生への調査公開

「小学校高学年における多様な性に関する授業がもたらす教育効果調査」を実施。小学 5・6 年生 849 名が授業前後に回答したアンケートやワークシートを分析し、日常的な LGBTQ を取り巻く実態と、多様な性に関する授業による知識・意識の変化を、データと具体性がある自由回答に寄せられた小学生たちの声をもとに発表しました。

本調査により、多様な性に関する授業は、LGBTQ への知識的な理解だけでなく、価値的・態度的側面についても変容が見られることから、授業後の行動変容につながり、子どもたちがアライ（理解者）となることが期待されるとともに、差別的言動やいじめの減少にも価値が認められると言えます。



■詳細記事：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000021.000047512.html>

■資料ダウンロード：https://rebitlgbt.org/project/kyozai/lgbt_surveyreport2_form

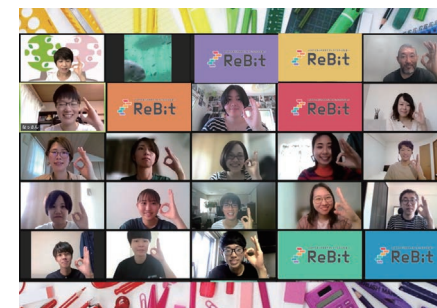
③講師育成・コミュニティ運営

全国どの地域も、ちがいをもち子どもがおりのまま大人になれる社会であってほしい。そのためには、各地域で課題解決のための推進力となり、次世代をエンパワメントする存在が大切です。ReBit では各地域で課題解決に取り組み若手リーダーを応援・育成するプログラム「diverseeds」を運営しています。

2021 年度の成果

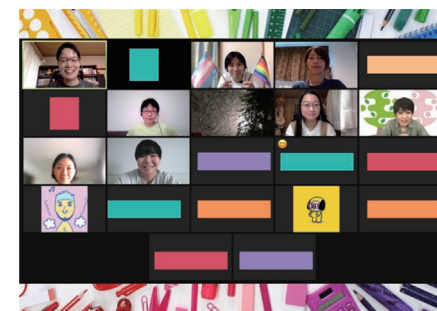
■全国 8 地域、13 名の講師を育成

参加者は 4 か月間にわたる OJT 等のプログラムによって、各地域で多様な性について発信する講師として活躍するためのスキルを身につけました。



■オンラインコミュニティ「にじいろ子ども応援団」の運営

「にじいろ子ども応援団」は、幼稚園・保育園から大学までの教職員をはじめ、保護者や教育関係者ならどなたでも参加できるオンラインコミュニティです。LGBTQ を含む子どもを取り巻く様々な環境や教育現場での対応事例など外部講師をお招きしオンラインコミュニティのメンバー 194 人を対象にした勉強会・交流会をのべ 6 回実施しました。





中学校教諭

大井 美佳 さん

ReBit さんとの出会いは 2012 年にさかのぼります。それから 10 年余。まったく BIT ではない歩みを積み重ねて社会に石を投げ続けてきたこの団体は、私の生きる世界を広く豊かに変えてくれました。

中学生を見ていると、その感性の鋭さと柔らかさに驚かされることばかりです。彼らの今にこそ正しい情報を伝え、「一人ひとりが違うからこそ美しい」ということを、実感をもって学んでほしい。自分自身もまた多様な性のいち当事者であることに気づいてほしい。そんな思いを具現化するために、ReBit さんほど心強いパートナーはいないと思います。全国各地で講師として活動されている実績。丁寧に練られた講演内容。「LGBTQ についての学習をしたいけどどうしたら・・・」という現場の先生たちのために無料で配付してくださる教材（なんと指導案つき!）。頼もしい相談相手がいっぱいいてくれる、そんな存在です。

世界は割と狭いのではないかと思います。いま自分がいる場所が居心地よければ、いま目の前にいる人との関係が心安らげば、その人の世界は明るく輝くでしょう。意識を変え、行動を変えれば世界を変えることはできるのです。



ReBit 講師

俊哉 さん

周りの男の子たちと何か違うな…と思った小学生の頃。もしかしたら男の人のことが好きになると思った高校 1 年生の頃。周りに気づかれたらきっと自分の居場所が無くなってしまふのではとても不安だった。

そんな自分と似たような思いを持っている子供たちはきっと多いと思います。ReBit の授業では多様な性に関する正しい知識を届けることよりも、身近な存在・ロールモデルであることを大切にしています。1 人じゃないんだ、自分がありのままの自分で生きていて大丈夫!って思える人が 1 人でも多く増えることを願いながら今日もマイクを握っています。



ReBit 講師

ほのか さん

多様なメンバーの多様なお話に出会える ReBit という場は、何よりも私にとって学びの場であり、安心できる場です。自分のあり方に葛藤していたときも、いつも共感して一緒に悩んでくれるメンバーがいました。今ではその悩んだ時間も宝物です。まさにその、1 人 1 人が多様性を大事にする心や実践が、授業にあふれているのが素敵どころだと思っています。私自身もその多様性の中の 1 人として、今の自分に言えるメッセージは何かということ、これからも模索していきたいです。

キャリア事業

多様な「ちがい」を持つすべての人が、
自分らしく働ける社会へ

子どもたちが「ありのまま大人になれる」と信じられるために、特性・属性にかかわらず、誰もが自分らしく働き・生きられる社会であってほしい。

そんな思いから、2013年よりキャリア事業をはじめました。

当初は、LGBTQ学生たちの就活支援に主軸をおいて展開していましたが、現在は、誰もが「その人のまま働くこと」が実現されるよう、ダイバーシティ & インクルージョンという大きなテーマのもと、以下3軸で展開しています。

1. 企業や行政への研修やコンサルテーション
2. 就活生 / 就労者へのキャリア支援
3. 就労支援者の育成

12年間のソーシャルインパクト

394回 4.7万人※



企業・就労支援へ研修を
提供した回数・人数

※動画研修含む

5100人



キャリア支援を
提供した人数

1.5万部



企業・就労支援機関
向け教材発行部数

10年後にめざす姿

- ・ 特性・属性にかかわらず、誰もが自分らしく働き、生きることができる社会をつくります。

① LGBTQ・DEIに関する取組み伴走支援 (コンサルテーション)

職場での取組みを進めるにあたり、制度やガイドラインの策定、対応にあたってのハンドブックの作成など、これまでの好事例から得られた知見を活かし、コンサルテーションやアドバイジング、監修を行ってきました。施策がLGBTQ従業員の目線に立ったものとなり、より効果的な取組みになるようサポートしています。

また、商品開発に向けてのモニターとしてLGBTQの方々のリクルーティングを行い、当事者目線でのご意見ご感想をお伝えするサポートも行っています。

■ コンサルテーション実績

- ・ 管理職を対象とした、LGBTQ社員からの相談対応ハンドブックの制作
- ・ LGBTQのお客様を想定し、小売店店長を対象としたLGBTQ理解促進マニュアルの制作
- ・ LGBTQに配慮した商品開発に向けたモニタリングのためのLGBTQの方々のリクルーティング
- ・ SOGIに関するテーマを扱った映像作品や出版物、宣伝・PRに関するアドバイジング 他

お客様の声

- 🗣️ 様々な他企業での取組み事例やご提案のご共有をいただき、これからの自社の取組みについて考える素地をつくることができました。
- 🗣️ 啓発資材の作成から、研修の実施まで、企画段階から多角的に相談を進めることができたため、効果的な施策の実施につながったと感じています。
- 🗣️ LGBTQだけではなく、その他の多様性も意識したコメントをいただくことができ、よりインクルーシブな表現につながられました。

② 企業研修

多様な性や、性的指向・性自認(SOGI)に関する社会状況を含めた基礎知識、LGBTQが職場で困ることや社内での取組事例などを体系的に「知る」という軸と、LGBTQの社会人のライフストーリーを通して、テーマを自分事として「体感する」という軸の二つを大切に、研修をお届けしています。講義形式の研修の他、対象やテーマに合わせた実践型研修、eラーニングのための動画研修もご提供しています。

2021年度の成果

2021年度は、研修やeラーニング動画のご依頼を多くいただき、約1.2万人にLGBTQやダイバーシティ&インクルージョンについてお伝えすることができました。

研修依頼元の皆さまのご要望をお伺いしながら、ReBitの研修の特長である「当事者との出会い」や「共に考えるグループワーク」を活かし、オンライン、オフライン研修や「誰もが安心して働ける職場づくり」をテーマにしたトークイベント、eラーニング動画を開発、ご提供できたことを嬉しく感じております。

■研修実績(敬称略・順不同):東日本電信電話株式会社(NTT 東日本)、株式会社ポーラ、コニカミノルタ株式会社、セガサミーホールディングス株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、オエノンホールディングス株式会社、株式会社東急コミュニティー、人権啓発東京講座、東京都



研修プラン例

■ LGBTQ・SOGI 研修 プログラム例

コンテンツ	内容
講義	1-1 多様な性、LGBTQに関する基礎知識
	1-2 LGBTQによるライフストーリー
講義・動画	2-1 LGBTQが職場で困ること、嬉しいこと
講義	2-2 職場での対応と今日からできること
ミニワーク	2-3 職場における課題について
まとめ	2-4 個人でできること

受講対象者、ご要望に合わせて柔軟なカスタマイズが可能です。
例: ロールプレイ、トークイベントなど

研修受講者の声

- 講師の皆様からのご経験・ご講話をお聞かせいただき、LGBTQの理解を深めることができました。『誰もが働きやすい職場』に向け、本日の研修において学習した内容を実践していきたいと思っております。
- 性の問題もひとつの人権課題であるということを改めて認識をする機会となりました。制度といった枠組みも当然大事ですが、その根本にある基本的な人権という視点は性に限らず、多様なものがあるので、しっかりと認識しておけるようにしておこうと思えました。

3 DIVERSITY CAREER FORUM

ダイバーシティに関するキャリアフォーラム。2021年度は「DIVERSITY CAREER FORUM」に名称を変更し、オンラインにて開催しました。D&Iに取り組む企業32社にご出展いただき、学生・若者らに「自分らしくはたらく」を考える機会を提供。約35万アクセスをいただき、大盛況となりました。



■出展企業（敬称略・順不同）：アクセンチュア株式会社 / EY Japan / NTTグループ / コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 / ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ / 株式会社セールスフォース・ジャパン / ソニーグループ株式会社 / 武田薬品工業株式会社 / 日本電気株式会社 / 野村ホールディングス株式会社 / モルガン・スタンレー / ユニリーバ・ジャパン / 株式会社丸井グループ / アップルジャパン合同会社 / アドビ株式会社 / LGBT ファイナンス（アメリカン・エクスプレス・インターナショナル・インコーポレイテッド / シティグループ / ドイツ銀行グループ / J.P. モルガン / プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン株式会社 / ムーディーズ・ジャパン） / 株式会社資生堂 / 清水建設株式会社 / セガサミーホールディングス株式会社 / 日興アセットマネジメント / 日本アイ・ビー・エム株式会社 / パーソルホールディングス株式会社 / 東日本旅客鉄道株式会社 / ブルームバーグ L.P. / Microsoft Japan / マッキンゼー・アンド・カンパニー / ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社

■後援：厚生労働省 / 文部科学省 / 東京都 / 日本経済団体連合会 / 日本労働組合総連合会（連合） / 全国中小企業団体中央会 / 日本商工会議所 / 東京商工会議所 / 国立大学協会 / 公立大学協会 / 日本私立大学連盟

■賛同：青山学院大学 / 大阪大学 / 金沢大学 / 関西学院大学 / 国際基督教大学 / 上智大学 / 中央大学 / 筑波大学 / 津田塾大学 / 東京大学 / 東北大学 / 日本女子大学 / 法政大学 / 明治大学 / 立教大学 / 立命館大学 / 早稲田大学

参加者の声

- 🗣️ マイノリティー当事者の方のお話や、DEIに取り組んでいる方のお話を伺い、一人一人が尊重される社会の実現に少しでも近づいていることが分かった（20代・学生）
- 🗣️ 実際に働いてる人に直接質問できる機会があって良かった。社員の方の人柄が出ていて、楽しく仕事をしている様子が思い浮かんだ。どのように会社を選べばいいかとても参考になった（10代・学生）

4 にじいろキャリアトーク

「にじいろキャリアトーク」は、「キャリア」のことをセクシュアリティや年齢、仕事の状態に関わらず語る場です。2021年度はコロナ禍の中、オンラインで3回開催しました。

国家資格キャリアコンサルタントを持つサポートメンバーと、実際に就労した経験を持つLGBTQの社会人メンバーが同席し、さまざまな「生きる」と「はたらく」を共に考えるお手伝いをしています。

参加者の声

- 🗣️ 普段は周りに話にくいことを、正直にお話しすることができて安心しました！
- 🗣️ たくさんの方の経験談などを直接聞けて良かったです！今後もこのような会に積極的に参加していきたいと思いました

5 アセスメントツール

特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会（東京都新宿区・理事長塩嶋史郎、以下JBFA）とアライアンスパートナー契約を締結しました。すべての子ども・若者が、自分自身を肯定し、身近な人や社会から肯定され、自分らしく大人になれる、すべての人のちがいが尊重される社会を目指し、ともに活動を推進してまいります。またJBFAが開発した「UB-Finder」をReBitが主催する研修事業でも導入し、受講者に対し研修内容のより一層の理解促進を図ります。



⑥ 就労移行支援事業所（障害福祉サービス） ダイバーシティキャリアセンター

■ 日本初、LGBTQ フレンドリーな就労移行 （障害福祉サービス）をオープン

ReBit は 2021 年度に、日本初の LGBTQ フレンドリーな就労移行（障害がある方の就活を支援する福祉サービス）の開所という、大きな挑戦をしました。LGBTQ であることは障害ではありませんが、LGBTQ は社会状況等からメンタルヘルスが悪化しやすく、精神障害における高リスク層です。一方で、支援者の無理解等から、LGBTQ の 76% が福祉サービスの利用時にハラスメントや困難を経験。安全網であるはずの福祉を安全に利用できないことで、生きること自体に絶望し、亡くなった仲間たちもいます。更にコロナ禍は、失業や困窮状態の加速を肌身で感じ、できることを模索し続けた結果、「ダイバーシティと障害福祉の架け橋」になれたらと、本事業所の設立に踏み出しました。

■ 精神・発達障害や失業・生活困窮の状況にある方等、 のべ 1,600 人へ就労相談を提供

就労移行の開所もあり、全国の LGBTQ からキャリア相談が増加。特に、精神・発達障害があったり、経済的に困窮しているなど、喫緊な状況の相談を多数いただきました。2022 年度は、東北・関西と地域を広げ安心して利用できる福祉サービスの拡大に注力します。

相談者の声

- 🔊 以前利用していた就労移行ではセクシュアリティに由来したハラスメントを受けていたので、“きちんと福祉を利用できている”と初めて感じられた。
- 🔊 初めてセクシュアリティの相談ができた。初めて呼ばれたい名前と呼ばれ、初めて着たい服を伝えられた。自分のままで生きて働いていいんだと思えた。

「誰もが利用しやすい行政・福祉サービスについて考える」
ダイバーシティキャリアセンター開所イベント

ダイバーシティキャリアセンターのオープニングイベントに、渋谷区長・長谷部健さんにもご登壇いただき、誰もが利用しやすい行政・福祉サービスについて考えました。

重層的支援を進め、誰もが暮らしやすい 地域づくりのためにできること

長谷部区長:開所、おめでとうございます。ダイバーシティキャリアセンターが、渋谷区ではじまるということは本当に嬉しく、心強く思っています。

重層的支援は渋谷区としても、取り組まなければならないことです。区も包括支援センターなどで情報の掘り起こしを行なっていきますが、区だけでは揃い上げられない情報をダイバーシティキャリアセンターが拾い、可視化することで、誰も取りこぼさずに、誰もが暮らしやすい街になることを強く願っています。

薬師:2021年より厚生労働省が推進する「重層的支援体制整備事業」は、複雑・複合的な課題や狭間のニーズへの対応を進めようという取り組みです。子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制の包



摂について議論が進むことは素晴らしい一方で、LGBTQをはじめとしたさまざまなマイノリティに関する議論はまさにこれから。LGBTQの課題やダイバーシティに先駆的に取り組んでこられた渋谷区が進める重層的支援体制整備事業のなかに、LGBTQをはじめとしたさまざまなマイノリティも仲間に入れていただけるとありがたいです。そうすることで、福祉サービスにLGBTQをはじめ、複合的マイノリティの方々もアクセスしやすくなるのではと考えています。

トランスジェンダーかつ発達障害であることで 働きづらさ・相談しづらさを経験。でもそれは、 多くの方々のストーリーでもありました

薬師：私自身、トランスジェンダーでかつ発達障害（ADHD）があります。新卒入社した企業では、ADHDの特性への叱責やトランスジェンダーであることのアウティング（暴露）等の状況が重なるなかで心身不調で休職・退職をしました。

心身不調の状況のなか、福祉サービスにアクセスして「トランスジェンダーなんです」と伝えて、否定されたりハラスメントを受けたらもう耐えられないなと思って、安心して相談できる場がないように感じました。

その後、LGBTQのキャリア支援を始めると、これは私だけではなく、多くのLGBTQの人たちのストーリーであることを知りました。精神・発達障害があるLGBTQの人たちから相談を受けた際、地域の福祉サービスを情報提供すると、「トイレが男女別なので、他の人たちにご迷惑になるのでちょっと…」とか「他の利用者さんがどう思われるか心配なので…」とか「スーツ必着なので、毎日スーツ着てこられるのであれば…」など、利用を拒まれたり、アクセスしづらい条件提示を受けた経験も。このような状況で「福祉でさえも受け入れてもらえないのか」と絶望して、自死した仲間たちもいます。このように、セーフティーネットであるはずの福祉を安心安全に利用できないことは、自死につながることを肌身に感じ、誰もが安全安心に福祉サービスを利用でき、自分らしく生きられる一助になればと願って、このセンターを開所しました。

まず、複合的な課題や困難が重なっている現実を、 多くの人たちに知ってもらうことが重要。 支援機関 / 支援者のみなさまと解決していきたい

石倉：支援者一人一人、そして、支援者 / 機関のネットワークの中で複合的マイノリティについて認知が深まることは、安心して利用できる体制の構築に繋がります。福祉はすべての人にとって平等にアクセスできるセーフティーネットであるべきだと考えています。でも、支援者が知らないことで支援体制が構築されておらず、支援ができないという現状を目の当たりにしてきました。私自身、トランスジェンダー男性ですが、一人の当事者として、福祉支援者として、目の前の現場で困っている当事者がいるのに、その機関で何もできないということにもどかしさを感じてきました。渋谷区、そして区内の支援機関 / 支援者のみなさまと連携をさせていただきながら解決していきたいと考えています。

長谷部区長：まず、複合的な課題や困難が重なっているという現実を多くの人たちに知ってもらうことが重要だと感じました。一人ひとりの悩みも、必要なサポートも多様だからこそ、研究研鑽しながら進めていく必要があるんだなということを、改めて話をきく中でわかりました。区としてもこの分野にも取り組んでいきたいし、サポートをしていきたいと思っています。



コレクティブ・インパクト事例

ReBit は企業・行政・学校・NPO などと広く協働し、LGBTQ やダイバーシティの課題に取り組んでいます。

■スターバックスさまとともに学校をレインボーに

スターバックス
コーヒー ジャ
パン 株式会社
さまにご寄付
をいただき、
校内のLGBTQ
への理解促
進とセーフス



ペースづくりを目的とした「レインボー学校プロジェクト」を行ないました。LGBTQ やアライのパートナー（従業員）にもご登壇をいただき、2020年度より中学校・高等学校・大学等21校で、多様性を考える授業をおよそ7,200名の生徒や先生に届けることができました。また、この取り組みは、任意団体 work with Pride が主催する性的マイノリティに関する取り組みを評価する『PRIDE 指標 2021』のベストプラクティスを受賞しました。

🗣️ スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
マーケティング本部 広報部 Social Impact チーム
林 絢子 さま

弊社パートナー（従業員）の体験談は、いま何かに悩みを持っている生徒さんへ勇気を届けることが出来たように思います。自分自身に真摯に向き合っている生徒の皆さんに話をさせていただいたパートナーにとっても、自分を改めて顧みる機会、そして皆さんの身近なロールモデルという存在になれる喜びを感じることができました。

■ SOGI インクルーシブな教科書の実現へ

小学校～高校の教科書を作成する教育出版株式会社さまと、多様な性を教科書で取り上げる際のポイントなどについて意見交換をしました。また、SOGI インクルーシブな教科書づくりのための研修もさせていただきました。

■ 学校へ教材の無償提供

ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループさま、ブラックロック・ジャパンさまなど多くの企業さまにご寄付をいただき、小・中学校約2000校に教材キット「Ally Teacher's Tool Kit」を無償提供できました。多くの企業さまからのご寄付のものと、LGBTQ の子どもにとっても安全な学校を増やす取り組みは、社会を変えるグッドデザインであると称され、2019年にグッドデザイン賞を受賞しました。



■ 瀧本株式会社さまとジェンダー インクルーシブな制服を共同開発

昨今、制服選択制の導入が話題になるなど、学校の意識が変化しつつあります。そのようなニーズに対応するため、制服メーカー各社も多様な制服を提案しています。ReBit では、「スクールタイガー」ブランドを擁する瀧本株式会社さまと協働して、ジェンダーインクルーシブな制服の開発に取り組んでいます。



■厚生労働省さまにて研修実施

厚生労働省さまにて「LGBTQ 等性的マイノリティについてのハローワーク職員研修」の講師を務めさせていただき、全国から多くの労働局・ハローワークの職員の皆さまにご参加いただきました。労働者からだけでなく、事業主からの相談にも対応される皆さまに、多様な性に関する十分な情報を知っていただくことは、各職場のお取組みを進めるきっかけにもなることと思います。貴重な機会をいただいたことに感謝し、今後も、キャリア支援に携わる皆さまと一緒に、「LGBTQ ×キャリア」のテーマについて共に考えていきたいと考えています。

■NHK さまへ、e-ラーニング・職場内ハンドブックのご提供

日本放送協会（NHK）さまへ、e-ラーニングコンテンツと職場内の理解促進のためのハンドブックのご提供をさせていただきました。昨年度の基礎編に続き、「多様な性のあり方を知る～誰もが自分らしくいられるために今日からできること～」というテーマで、職場内の困りごとや同僚としてできることに焦点をあてた研修を、約 5000 名の皆さまにご受講いただきました。また、研修やハンドブックの作成に際しては、実際に NHK で働く皆さまのご協力で、「職場内の生の声」をお届けできました。これからも、各職場のニーズに幅広くお応えし、LGBTQ テーマに取り組む際の推進パートナーとして伴走できる存在であり続けたいと思います。



■自治体と協働した啓発事業の実施

東京都、埼玉県、神奈川県、新宿区、札幌市など、自治体の皆さまと協働して、LGBTQ や多様な性に関する周知啓発のための研修提供やハンドブック作成等を実施しました。

市民向けのオンラインセミナーや、該当地域に拠点を置く事業者向けの研修、人事担当者向けの研修にて講師を務めた他、行政職員向けのハンドブックの作成などにも協力させていただきました。各地域で取り組みを進めていただくことは、LGBTQ も安心して頼ることのできるセーフティーネットの構築にもつながります。今後は、福祉の分野においても自治体との連携を深め、LGBTQ を含めた多様な人が過ごしやすい社会づくりに共に取り組んでまいります。

■企業・NPO らと協働した、職場のダイバーシティ推進プロジェクト

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンが進んだ職場は、組織の多様性と各人の個性を活かす「誰にとっても働きやすく、パフォーマンスが高い職場」です。そのような職場が国内で増えることで、日本で働く人たちのウェルビーイングの実現を目指すプロジェクトを開始しました。ジェンダー、障害、多文化、がん、介護、LGBTQ 等に取り組む NPO や複数の企業と協働し、職場のダイバーシティ推進に包摂的に伴走するための企画を進めています。

2022 年度の注力ポイント

1 「知識を届ける」の向こう側へ

ReBit の教育事業では、これまで、出張授業や教材開発など、学校現場へ正しい知識と適切な支援を届ける取り組みを主軸に活動を続けてきました。今後もその重要性は変わりませんが、事業を開始した 12 年前と社会状況を比較すると、LGBTQ に関する情報は入手しやすくなっています。そんな中、更なる変化の鍵になるのは、性の多様性を前提とした環境づくりのために行動する先生・大人が増えることだと考えています。2022 年度は、「知識を届ける」から一歩踏みこんで、教員育成に一層注力すると共に、子どもたちを取り巻く課題の可視化にも取り組んでいきます。

3 LGBTQも安心して利用できる安全網を全国に広げ、どの地域でも自分らしく働き・生きられる未来を

LGBTQ は社会の状況などからメンタルヘルスが悪化しやすく、同性愛者や両性愛者の 25%、トランスジェンダーの 35% が就職後うつを経験したとの調査も(*8)。しかし、マイノリティ性と障がいの方を、安心して伝えられる場は少なく、精神・発達障害がある LGBTQ の 76% は、行政・福祉サービス利用における不安や困難を経験しています(*9)。この状況を受け、ReBit は 2021 年に、日本初の LGBTQ フレンドリーな就労移行支援事業所(障害福祉サービス)を渋谷区にて開所しました。その結果、約半年でのべ 1600 名からの喫緊なご相談が、全国から殺到しました。ReBit は 2022 年度も、調査を通じた課題の可視化、福祉サービスでの支援モデル構築、行政 / 支援団体と連携したモデルの波及を通じて、どの地域でも LGBTQ も安全に福祉利用ができることにより、自分らしく働き・生きられる未来を目指します。

2 テーマを横断し、コレクティブに企業のダイバーシティを推進する

コロナ禍に若者の 65% が、働き方や社員の多様性など企業の DE&I (ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン) の取り組みをより重要視するようになったといいます(*7)。DE&I の進んだ職場は、組織内の多様性と各人の個性を活かす、「誰にとっても働きやすく、パフォーマンスが高い職場」です。2021 年度も引き続き、LGBTQ だけでなく、ジェンダー、障害、エスニシティなど多分野に取り組む NPO らと、テーマを横断しコレクティブに協働しながら、「誰もが自分らしく働く」社会を目指します。研修や e-ラーニング動画提供、実践パートナーとしてコンサルテーション、DE&I 担当者さまの育成、そしてキャリアマッチングのためのイベント開催などを行います。

4 チームの成長を基盤に、更なる挑戦を

2021 年度は、就労移行支援事業所の開所や、企業の皆さまとのコラボレーションなど、新しいことに満ちた 1 年でした。これからも挑戦を続けるためには、チームの成長が欠かせません。働きがいをもってキャリアを描ける職場づくりを続けると同時に、ReBit の目指す Vision に向けて、一緒に進む仲間を増やしていきます。「社会を変える」を仕事にしたい方、お待ちしております！
※最新の採用情報は団体ホームページ等よりご覧ください。

(*7) ReBit (2020) 「Z 世代のダイバーシティ&インクルージョンと就活・就労について」
(*8) 特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ、国際基督教大学ジェンダー研究センター (2015) 「LGBT に関する職場環境アンケート」



2021年度の御礼とご報告



事務局長
中島 潤
Jun Nakajima

皆さまとの繋がりで、 次の社会を創りたい

2021年度、ReBitの歩みを応援いただいたこと、心より感謝申し上げます。続くコロナ禍の状況もふまえ、「今、ReBitがなすべきこと、求められていることは何か」という問いに、これまで以上に向き合う1年となりました。

2022年度も各分野での挑戦が続きますが、「ReBitが、社会を変える」のではなく、

「皆さまと共に、社会を創る」という想いで、寄付者をはじめとしたReBitを応援してくださる皆さま、学校現場の先生方、企業、行政、連携団体の方々など、多様な繋がりの中で、「今、なすべきこと」を誠実に積み上げていきたいと思っております。今後もご支援のほど、よろしくお願いいたします。



経営管理部部長
佐藤 淳
Jun Sato

組織づくりを通じた協働で の社会変容を模索します

2021年度、収益前年比55%増となり、就労移行支援事務所が開所（主たる事務所も併設）、新入職員も増えました。様々な背景と強みをもった職員が、事業部や組織を超えて、事業を推進しています。2021年度は、組織の重要なリスクに関するリスクマネジメントマニュアルを策定し、ガバナンス・コンプライアンス体制づくりに取り組みしました。四半期に1回の全職員セッションでは、ReBitの歴史と社会的な潮流を学び、職員同士の褒め合い・前職等の経験の共有、中長期のアウトカムや取り組み方針の議論等を行いました。2022年度は、組織づくりを事業同様の注力事項に定め、ReBit職員や他事業関係者のウェルビーイングを大事にしながら、協働での社会の変容を目指します。



教育事業部
スーパーバイザー
小川 奈津己
Natsuki Ogawa

よりよい教育のために 取り組んでまいります

この数年、変化の年が続いています。たとえば2020年度は適応のための変化を余儀なくされた年でした。そのような中でも2021年度は、よりよい教育のためにみずから変化していった年といえるのではないのでしょうか。ReBitでも、オンラインをはじめ様々な方法で授業・研修を実施させていただきました。「こういう形でなら実施できるので

はないか」と、試行錯誤してくださった主催者の皆様には感謝しかありません。今後も社会の変化に柔軟に対応しながら、その時々に必要な発信に取り組んでまいります。



教育事業部
マネージャー兼
ファンディング担当
綿貫 桃子
Momoko Watanuki

皆さまと届ける「エール」

日頃より様々なかたちでご支援・応援いただき、ありがとうございます。皆さまのお力添えにより、続く時代の荒波に負けることなく、2022年度を迎えることができました。教材の無償提供や出張授業、ダイバーシティキャリアセンターの運営など、日々のご支援が「ちがい」による困難に立ち向かう子ども・若者に『大丈夫。あなたの味方はここにいるよ。』というエールとなって届いています。

しかしながら、まだまだ届ける先はたくさんあります。待っている子どもたちがいます。これからも皆さまと一緒にエールを届け続けたいと思います。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。



キャリア事業部
マネージャー
井澤 明穂
Akiho Izawa

自分らしく働ける 社会のために貢献します

さまざまな「ちがい」を持つ人が自分らしく働くことのできる社会を作るため、キャリア事業を展開してまいりました。誰かのための取り組みは、誰もが働きやすくなる環境への取り組みとなることをお伝えしています。研修、コンサルティング、イベント出展など、お声がけいただいた企業・団体の皆様に改めて御礼申し上げます。2022

年度は「LGBTQのReBit」から「DE&IのReBit」へ変わる1年目として、さらに成長してまいります。



ダイバーシティ
キャリアセンター管理者
石倉 摩巳
Mami Ishikura

福祉とLGBTQの架け橋 を創っていきます

2021年度、日本初のLGBTQフレンドリーな就労移行支援事業所を渋谷区にて開所いたしました。精神・発達障害があるLGBTQを中心に支援を行っています。開所に伴い、皆様からのご支援、心より感謝申し上げます。当事者の多くは、自身の困りごとを相談すること自体、高い壁になっているケースが多く存在しま

す。包括的な支援体制が構築されていないことや課題が見える化されていないことで支援が難しくなっています。LGBTQが安心/安全に利用できる支援モデルを構築し、誰もが自分らしく働き、生きる上での選択肢を増やせるよう、取り組んでまいります。

ReBit が携わる書籍・教材

- …全国の書店でご購入いただけます
- …stores にてご購入いただけます <https://rebitlgbtsupporters.stores.jp>
- …ホームページよりご注文ください <https://rebitlgbt.org>

子ども向け

書籍

「ふつう」ってなんだ?:
LGBT について知る本

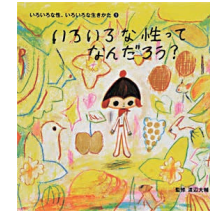
薬師実芳ほか (2018)
学研プラス◎



書籍

いろいろな性、
いろいろな生き方

渡辺大輔 (2016)
ポプラ社◎



書籍

みんながってみんなステキ:
LGBT の子どもたちへ
届けたい未来

高橋うらら (2021)
新日本出版社◎



教職員・ 保護者向け

書籍

改訂新版 LGBT ってなんだろう?:
自認する性・からだの性
・好きになる性・表現する性

薬師実芳ほか (2019)
合同出版◎



書籍

教育と LGBTI をつなぐ:
学校・大学の現場から
考える

三成美保ほか (2017)
青弓社◎



書籍

LGBT 問題と教育現場:
いま、わたしたちにできること
(早稲田大学教育ブックレット)

学文社
(2015) ◎



教材キット

中学校版
Ally Teacher's Tool Kit

ReBit (2017) ○



教材キット

小学校高学年版
Ally Teacher's Tool Kit

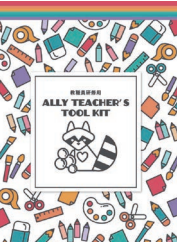
ReBit (2018) ○



教材キット

教職員研修用
Ally Teacher's Tool Kit

ReBit (2021) ○



DVD

先生にできること:
LGBT の教え子たちと
向き合うために

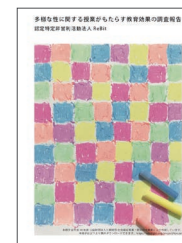
ReBit (2012) ○



調査報告

多様な性に関する授業
がもたらす教育効果の
調査報告

ReBit (2018) ●



人事・就労 支援者向け

書籍

法律家が教える LGBT
フレンドリーな職場づくり
ガイド

LGBTQとアライのための法律家
ネットワークほか(2019) 法研◎



書籍

トランスジェンダーと職場環境
ハンドブック: だれもが働き
やすい職場づくり

東優子ほか (2018)
日本能率協会マネジメントセンター◎



書籍

LGBTIの雇用と労働:
当事者の困難と
その解決方法を考える

三成美保ほか (2019)
晃洋書房◎



冊子

LGBT 就労支援
ガイドブック

ReBit (2015) ●



冊子

LGBTと職場について考える
ハンドブック: すべての人が豊か
に働く職場づくりを目指して

ReBit (2015) ●



冊子

キャリア支援者のため
のLGBTQハンドブック

ReBit (2021) ●



ReBit が取り組む SDGs



1. 貧困をなくそう

LGBTQは学校や求職/就労の困難から貧困に繋がります。学齢期とキャリア初期のサポートを通じ、課題に取り組んでいます。



3. すべての人に健康と福祉を

LGBTQの希死念慮は高く、特に二次性徴期が希死念慮の第一ピークです。学齢期の正しい情報と適切な支援を通じ、課題に取り組んでいます。



4. 質の高い教育をみんなに

多様な性に関して学校で習ったことがある中学生は僅か 11.8%。多様な性と多様性について学び考える機会を学校教育と社会教育で提供しています。



5. ジェンダー平等を実現しよう

LGBTQの平等は、ジェンダー平等なしには実現しません。他団体と協働し、ダイバーシティに関する企業研修やキャリアイベントを開催しています。



6. 安全な水とトイレを世界中に

特にトランスジェンダーは公共トイレが使いづらいという課題を、学校・企業・行政等へのアドバイジングを通じ取り組んでいます。



8. 働きがいも経済成長も

LGBTQをはじめ、マイノリティ性をもつ若者のキャリア支援や、企業/就労支援者へLGBTQやダイバーシティに関する啓発を通じ、誰もがその人らしいキャリアの実現に取り組んでいます。



10. 人や国の不平等をなくそう

性的指向・性自認に関する不平等をなくすため、行政・企業・学校・NPO等さまざまなステークホルダーと連携し取り組んでいます。



11. 住み続けられるまちづくりを

全国 15 地域 31 名でLGBTQの課題に取り組む若者リーダーの育成。地域リーダーの育成を通じ、LGBTQも自分らしく大人になれる地域を増やす取り組みをしています。



16. 平和と公正をすべての人に

行政の条例づくりにおけるヒアリング、検討委員等を通じ、性的指向や性自認により差別されない社会づくりに取り組んでいます。



17. パートナリシップで実現

LGBTQの子ども・若者の「生きづらさ」は、多様性へ包摂的でない風土が変わることで解消されると考えます。そのため、子ども・若者の課題に取り組む団体と課題に取り組んでいます。

支えてくださった企業 / 団体のみなさま



BlackRock

Bloomberg

Deloitte.
デロイトトーマツ

JSOL

Johnson & Johnson
FAMILY OF COMPANIES IN JAPAN

大和ハウスグループ
エンドレス募金



Soup
Stock
TOKYO



ROBERT WALTERS

Mellia

JACCS



社会福祉法人 白岡白寿会 特別養護老人ホーム
いなほの里

ANDERSON
MORI &
TOMOTSUNE



JANPIA

Supported by
READYFOR
READYFORの基金事業のサポートを
受けて活動しています

みてね 基金

ファイザープログラム
～心とからだの
ヘルスケアに関する
市民活動・市民研究支援

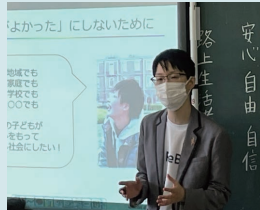
三菱財団

埼玉県

ReBit の活動は、皆様のご寄付に支えられています

毎月1,000円の寄付で

小学校1クラスに、出張授業を届けることができます。(1学年200人の場合)



毎月3,000円の寄付で

就活生4人にキャリアカウンセリングを提供し、自分らしく働くことを応援できます。



毎月5,000円の寄付で

教材提供を通じ、児童生徒4,300人に、LGBTQについて学ぶ機会を届けることができます。



※1年間のご寄付を続けられた場合

マンスリーサポーター「にじいろボタン」の仲間になりませんか？

1日33円から、LGBTQを含めた全ての子どもがありのままで大人になれる社会を実現できます。ご自身の都合にあわせて、月額のご寄付金額コースをお選びいただけます。

マンスリーサポーターの声



山崎 啓介 さん
会社員

2019年春、ちょうど我が子が小学校へ入学というタイミングから ReBit のにじいろボタンに参加させて頂いています。自分が子どもの時と比べて、ずいぶん多様性が認められる時代になりました。子どもから学校生活の話聞いていても、様々なちがいをもち子どもたち同士、それぞれに尊重しあいながら、自然体で過ごしている様子を耳にします。これから先、我が子が成長し思春期を迎えても、ありのままの友達を認め、また自分自身ありのままで育ってほしい。まさに ReBit の目指す社会を私も望んでいます。そのためには私たち大人が、いまの社会課題を正しく理解する必要があります。これからも ReBit の活動を応援しながら、私自身も学ばせて頂きます。

お申し込み方法

①クレジットカード決済

<https://rebitlgbt.org/support/nijiroboton>
「にじいろボタン」で検索！

カード支払いは VISA・MASTER・JCB・AMEX・Diners に対応しています。



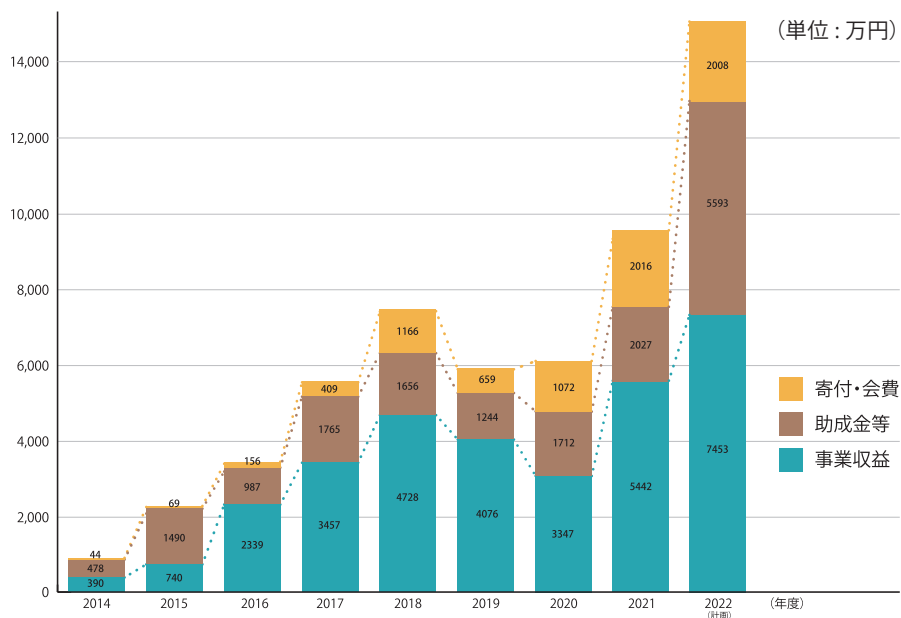
②銀行振込み

https://rebitlgbt.org/support/oneoff_donate
後日、お礼や領収書発行をさせて頂きたいので、上記リンクのフォームにご記入の上、お振込みをお願いいたします。ご寄付をしようと思った理由とともに、「にじいろボタン入会希望」と記載してください。

※ ReBit は認定 NPO 法人です。確定申告を行うことで寄付金控除（税制優遇）の対象となり、寄付金額の最大約半額が戻ってきます。

財務諸表および計画

■ 収益推移および計画

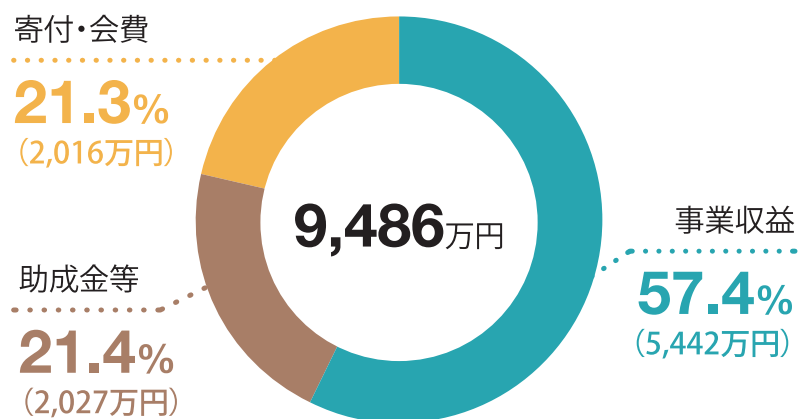


2021年度、ReBitは経常収益は9,486万円、前年比3,355万円(55%増)収益増となりました。この背景には、LGBTQの教育・キャリアに関する企業からの協働の相談増加、就労移行支援事務所の開所(主たる事務所も併設)、そして個人・法人の寄付者が増えていることが挙げられます。

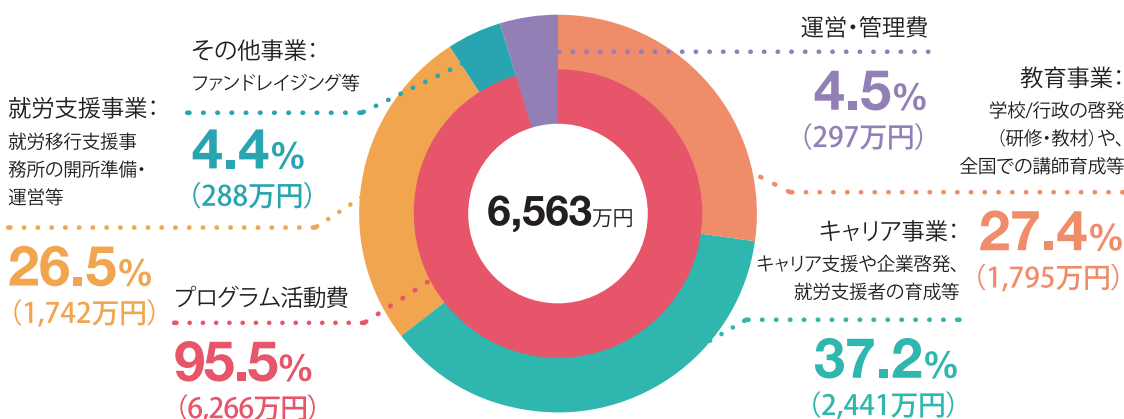
経常費用は6,563万円、前年比1,582万円(32%増)となりました。今期の当期経常増加額は2,923万円。来期以降に繰り越し、ReBitの中長期のアウトカム実現に向けた事業推進に充当していきます。

2022年度予算は、経常収益が15,054万円、経常費用9,462万円、当期計上増加額5,592万円と、2021年度より増して収益が上がる見込みです。LGBTQ領域の課題や取り組む重要性がより認知されている中で、長く取り組んできた教育・キャリア等でReBitは新たな役割の期待を頂いています。そのため事業拡大による事業収益増加と共に、企業・行政・学校・NPO等と日本各地での協働(コレクティブ・インパクト)の推進に向けた助成金等の採択も複数頂きました。様々な主体と共通の願いを実現するための新たな挑戦を積極的に行っていくため、ReBitメンバーや各事業で一緒にいる様々な方々と共に、新たな価値を共創する一年とします。

■ 2021年度収益の内訳



■ 2021年度費用の内訳



■活動計算書

(単位:円)

科目		2020年度	2021年度	前年度比 増減	2022年度 (予算)	前年度比 増減	
経常収益	受取会費	110,000	130,000	20,000	120,000	(10,000)	
	受取寄付金	10,610,576	20,032,835	9,422,259	19,960,000	(72,835)	
	受取助成金等	17,117,011	20,274,200	3,157,189	55,930,000	35,655,800	
	事業収益	33,444,500	54,423,042	20,978,542	74,527,254	20,104,212	
	その他収益	24,963	834	(24,129)	1,000	166	
	経常収益 計	61,307,050	94,860,911	33,553,861	150,538,254	55,677,343	
	経常費用	事業費	人件費	27,998,087	35,094,996	7,096,909	59,207,717
その他経費			19,168,879	27,563,680	8,394,801	31,587,868	4,024,188
事業費 計			47,166,966	62,658,676	15,491,710	90,795,585	28,136,909
管理費		人件費	1,491,462	1,031,468	(459,994)	2,599,854	1,568,386
		その他経費	1,153,820	1,940,388	786,568	1,222,711	(717,677)
		管理費 計	2,645,282	2,971,856	326,574	3,822,565	850,709
経常費用 計		49,812,248	65,630,532	15,818,284	94,618,150	28,987,618	
当期経常増減額		11,494,802	29,230,379	-	55,920,104	-	
経常外収益		429,300	376,215	-	0	-	
経常外費用		0	3,615,973	-	0	-	
当期正味財産増減額	11,331,602	25,920,621	-	44,588,502	-		
前期繰越正味財産額	79,241,288	90,572,890	-	0	-		
次期繰越正味財産額	90,572,890	116,493,511	-	44,588,502	-		

※次期繰越正味財産のうち、8800万円を「LGBTQ キャリア支援積立特定資産」として計上しています。

※経常外費用は、就労移行支援事業所の開設及び事務所移転に伴う特別損失を計上しています。

この活動計算書と貸借対照表は会計帳簿と一致し、
認定特定非営利活動法人 ReBit の収支を正しく示していることを認めます。

ReBit 監事
公認会計士
国見 健介



ReBit 顧問税理士
准認定ファンドレイザー
中山 麻衣子



■貸借対照表 (2022年3月31日現在)

(単位:円)

科目		金額	
資産の部	流動資産	現金・預金	19,837,965
		売上債権	11,512,324
		棚卸資産	401,632
		その他流動資産	88,779,585
		流動資産 計	120,531,506
	固定資産	有形固定資産	4,609,213
		投資その他の資産	3,471,940
		固定資産 計	8,081,153
	資産の部 合計		128,612,659
	負債の部	流動負債	未払金
前受金			6,875,000
預り金			80,803
未払法人税等			70,000
未払消費税等			1,483,500
流動負債 計			12,119,148
負債の部 合計		12,119,148	
正味財産の部	前期繰越正味財産額	90,572,890	
	当期正味財産増減額	25,920,621	
	正味財産の部 合計	116,493,511	
負債及び正味財産の部 合計		128,612,659	

認定 NPO 法人 ReBit (りびっと)

〒151-0053

東京都渋谷区代々木 3-26-2 新宿カメヤビル 4 階

取引銀行：三井住友銀行 武蔵境支店 普通預金 0596883

理事 (2022 年度)：薬師 実芳 (代表理事) / レイモンド・ウォング /
猿渡 由実子 / 中島 満香 /
山田 久二裕 / 湯本 洋美

監事：国見 健介

表紙等撮影：たかはしじゅんいち

沿革

2009 年 12 月：早稲田大学の学生団体として設立

2010 年 6 月：初の出張授業開催

2012 年 1 月：LGBTQ 成人式初開催

2013 年 8 月：LGBTQ 就活生向け支援イベント初開催

2014 年 3 月：NPO 法人に

2014 年 4 月：企業・就労支援者向け研修開始

2016 年 10 月：RAINBOW CROSSING 初開催

2017 年 3 月：教材 Ally Teacher' s Tool Kit リリース

2018 年 7 月：認定 NPO 法人に

2021 年 12 月：就労移行支援事業所ダイバーシティキャリアセンター開所

✉ info@rebitlgbt.org

🖥️ <https://rebitlgbt.org>

🐦 @Re__Bit

📘 <https://www.facebook.com/Re.Bit.LGBT>



Supported by

 **READYFOR**

READYFORの基金事業のサポートを
受けて活動しています